

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

問題 I

問 1. 下線部 (1) について、「聖書の喩え話」はどのような点で「詩」と言えるとベーコンは考えていたのか、本文に即してわかりやすく説明しなさい。

聖書の喩え話は、ただ何らかの教えを例証するだけでなく、わざと意図を不明瞭にし、精神を楽しませる機能を持つ点で詩と言える。(3 段落目参照)

*出題意図：段落を越えて、文章の流れを汲みとることができるかどうか。

問 2. 下線部 (2) について、人の 3 つの能力のうちベーコンが最も優れているとしているのはどの能力か、そしてそれは何故か、本文に即してわかりやすく説明しなさい。

想像力。記憶が関わる歴史的事実には多様性がなく、また、理性は人間の精神を現実、事実に縛り付ける点で、現実が与えてくれるもの以上を求める精神を満足させられない。それに対して想像力は、現実において見えるのとは違う角度から、精神が望むような形で物事を眺めることを許してくれる点で、優れている。(第 3 段落)

*出題意図：言葉を変えて繰り返し書かれていることをまとめることができるかどうか。

問 3. 下線部 (3) を日本語に訳しなさい。

しかし、想像力は 17 世紀の多くの思想家たちにとって疑わしいものだった。詩人や狂人、恋する者に影響を与える混乱の潜在的原因と見做されがちだったからだ。

*英語らしい表現を日本語的な表現に言い換えられるか。

問 4. 下線部 (4) について、ベーコンの言う “unlawful matches” とはどのようなものか、本文に即してわかりやすく説明しなさい。

想像力によって現実の事物と概念とが思いがけない形で結び付けられたものであり、理想世界に近づく、あるいは理解するための最も優れた手段。(第 4, 5 段落)

- ・想像力によって作られるもの、詩
- ・具体事物と抽象概念を思いがけない形で結びつけ、現実を想わぬ角度から見せるもの。
- ・理想世界に近づく手段

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

出題意図：比喩的な形で提示されたキーワードを正しく理解し、わかりやすく説明できるかどうか。

問5. 下線部(5)を日本語に訳しなさい。

しかし現実的に考え、19世紀末のフランスの知的雰囲気の中で形作られた見解を17世紀初期のイングランドでものを考え書いていた人物のものとするには注意しなければならない。

*出題意図：構文を正しく理解できるかどうか。

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

問題 Ⅱ

[Redacted text block containing the main body of the problem, consisting of multiple paragraphs of blacked-out text.]

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

Adapted from Terry Eagleton, *Literary Theory: An Introduction* (Blackwell, 1996), pp.19-21.

問 1 下線部(1)を和訳し、その意味を本文に即して簡潔に説明しなさい。

「私たちが引き継いだ意味においては、文学とはイデオロギーである」

文学とイデオロギーは異なる二つの現象ではなく、文学も社会、経済、政治思想の礎となる強固な価値体系、信念体系であり、社会権力の諸問題と通底している。

出題意図：段落を超えて、文章全体の論理を理解し、主題・Thesis statement を説明できるかどうか。

問 2 下線部(2)について、本文に即して簡潔に説明しなさい

19 世紀後半、ヴィクトリア朝時代において、科学の進歩と社会変化によって「宗教が破綻」し、大衆の心理と知性を操作してきたキリスト教というイデオロギーの優位性や支配力が弱まったこと。

出題意図：文章の論理を理解し、作者が' 'を付けている意味の言葉とその文脈を簡潔に説明できるかどうか。

問 3. 下線部(3)と(5)に'cement'という言葉が二回繰り返されているが、本文に即してこの言葉の意味を具体的に説明しなさい。

異なる職業、生活体系、価値観を持つ階級社会を繋ぎ合わせる社会的な「セメント」、「接着剤」。

出題意図：文章を正確に読解し、作者が' 'を付けている言葉の比喻を的確に説明できるかどうか。

問 4. 下線部(4)において、何が「幸運」であったのか。本文に即して説明しなさい。

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

失墜ないし破綻した宗教の代わりに、宗教に非常に類似した言説である英文学が宗教に変わるイデオロギーとなっていた歴史事実を、(アイルランド系英国人・労働者階級出身でマルクス主義者であるイーグルトンが皮肉を込めて)「幸運」と呼んでいる。

出題意図：筆者の主観が入る副詞から、文章の論理を正確に理解し、的確に説明できるかどうか。

問5 下線部 (6) を和訳しなさい。

喫緊の社会的課題は、アーノルドが認識するように、それなりに豊かで精緻なイデオロギーによって自らの政治力や経済力を支えることはできないと露呈してしまっていた、俗物的な中産階級に教養を身に付けさせることであった。

喫緊の社会的課題は、アーノルドが認識するように、俗物的な中産階級に教養を身に付けさせることであった。中産階級のそれなりに豊かで精緻なイデオロギーによって、自らの政治力や経済力を支えることが不可能であることは明らかであった。

出題意図：文章の論理を正確に理解した上で、的確な和訳できるかどうか。

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

問題 III

*出題意図：英米文学史における重要事項についての基礎的知識があるかどうか

(1) John Donne

John Donne was an early-seventeenth century poet who enjoyed teasing readers with the complexity of his metaphors. He is an example of a ‘Metaphysical’ poet. He wrote religious poetry, erotic poetry and, of course, erotic religious poetry. He was a Roman Catholic who sensibly – given the circumstances – converted to Anglicanism, and he never had enough money.

(2) Moby Dick

Moby-Dick; or, The Whale is an 1851 epic novel by American writer Herman Melville. The book is centered on the sailor Ishmael's narrative of the maniacal quest of Ahab, captain of the whaling ship Pequod, for vengeance against Moby Dick, the giant white sperm whale that bit off his leg on the ship's previous voyage

沈没した悲運の捕鯨船でただ一人だけ生き残った乗組員が書き残した、白い巨大なマッコウクジラをめぐる、数奇な体験手記の形を取るアメリカの小説家ハーマン・メルヴィルによる長大小説。

(3) iambic pentameter

弱強五歩格、すなわち1行に10のシラブルがあり強勢の置かれるシラブルとそうでないシラブルが交互に現れる。英詩で最も広く用いられる韻律で、シェイクスピアの戯曲、詩、ミルトンの叙事詩 *Paradise Lost*、ワーズワスの抒情詩 *The Prelude*、さらにはビートルズの曲など様々なジャンルで用いられている、英語のリズムに乗りやすい韻律。

a rhythmic pattern that consists of ten syllables per line, with alternating stressed and unstressed syllables

(4) context

Context is what was happening in the world in the period of a text's composition. Contexts can be personal, political, economic, social, environmental etc. Contextual criticism argues that context is necessary to understand why a text was written, what form it took, and how it was read by contemporaries.

(5) dystopia

ユートピアの反対語。人々が非人間的で、不安や恐怖にさいなまれながら生きる架空の暗黒郷、版理想郷。また、そのような世界観を持った作品。Aldous Huxley の *Brave New World* (1932), George Orwell の *Nineteen Eighty-Four* (1949)、最近では Margaret Atwood の *The Handmaid's Tale* などがある。

an imagined world or society in which people lead wretched, dehumanized, fearful lives.

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
英語学専攻 文学領域
解答例・出題意図

問題 IV

Intention: Candidates should demonstrate awareness of fundamental issues in the field of literary studies. Ideally, candidates will illustrate their arguments and responses with specific examples from their own reading of English literature.